

5・3憲法集会と意見広告運動 成功めざし3月26日にプレ集会

禁止しても罰則規定はないが、大っぴらに兵器を使えなくなっている。少しずつ追い詰めているのは事実。

個々人の生命・生活・人権を守ることを最優先して安全と安心を確保するには、人間同士のむすびつきで、軍事的抑止力から人間力による抑止へ転換することが重要である。

憲法の趣旨は、「座して平和を待つ」のではなく、「国家間の紛争や意見の対立・不同意・齟齬などがあれば、交渉・話し合い・説得などの外交的手段と国民間の友好的交流を通じて平和を保つ」ことにある。それが真の抑止力である。

池内さんは、展望と希望がもてる言葉で講演を締めくくられました。



学術会議任命拒否問題について

上記について多くの方から質問があり、池内さんは次のように話されました。

6人の任命拒否について、菅総理が一切説明をしなかったことでマスコミが付度を始めた。「6人は、現政府の考え方、やり方に異議を申し立て反対の立場」「学術会議が軍事研究に反対していると自民党が認識」等。その結果、いろいろと憶測させて萎縮させようとしている。

今まで学術会議は、政府の意向を付度せず自由に意見を出してきた。政治のため、戦争のための科学をしない方針を持っている。学術会議としては、新たな推薦はしない。

しかし、この問題は学問の自由を強く圧迫するようになっていくだろうと危惧している。(報告 柳)

〔アンケートから〕

- ・難しい話を分かりやすく話してもらった。素晴らしい講演だった。
- ・戦争する国に向かう日本が怖い。
- ・何としても憲法を守りたい。
- ・「人類は知的に進歩している。自信を持とう！」に勇気づけられた。
- ・科学技術と軍事のかかわりがわかった。

戦争させない、9条壊すな！5・3兵庫憲法集会と憲法を活かす1万人意見広告運動の成功を目指すプレ集会在3月26日、神戸市勤労会館7階大ホールで開催されました。

主催は、戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会。主催者を代表して、羽柴修弁護士(9条の心ネットワーク代表)が、菅政権による日本学術会議への人事介入にみられるような憲法違反の攻撃を許さず、1万人意見広告や5・3憲法集会をはじめ、国民世論の盛り上がりでハネ返そう」と、力強く呼びかけました。

続いて、関西大学法学部の木下智史教授が、「菅政権と改憲のうごき」と題して講演。木下教授は、「安倍政治の継承を自称する菅政権を、市民と野党の共闘で追い込み、新しい民主的な政府で憲法を守り、生かし、核も基地もない平和で暮らしやすい社会をめざそう」と呼びかけました。(田所 明治)



憲法はあなたの命と

未来のサポーター

戦争させない、9条壊すな！

5.3 兵庫憲法集会

5月3日(祝) 14:00~15:30

神戸東遊園地とウェブ配信

メインスピーカー：芦名定道さん

(関西学院大学教授・京都大学名誉教授)

「学術会議の任命拒否の本質を当事者から訴える」

規模：会場参加 2000人

主催：戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会